

TRPU NEWS

富山県立大学ニュース

No. 137
| Winter | 2023



p.2-3 Close-Up県大

なぜ本学の就職率が高いのか!
就職支援・キャリア支援のヒミツは……。

p.4-5 キャンパストピックス

p.5 インフォメーション

p.6 受賞情報

p.6 学生レポート

p.7 研究紹介

p.8 サークル紹介・スケジュール



「ドンドンマスマス 富山県立大学」
プロジェクトリーダー ドンマス教授

なぜ本学の就職率は高いのか！ 就職支援・キャリア支援のヒミツは……。

毎年100%近い就職率を誇る本学工学部。この春、第1期生を送り出した看護学部もそれに続き、「就職に強い大学」として全国的に高い評価を得ています。今号では、本学の就職支援、キャリア支援の概要を紹介し、高い就職率のヒミツに迫ります。



キャリアセンターではキャリア・就職支援に関わる様々な相談ができます。

令和5年3月に卒業した本学学生の就職率は、工学部で99.7%、看護学部で95.6%（いずれも進学者は除く）。工学部は毎年、高い就職率を達成しており本学の特徴の一つに数えられ、看護学部もそれに続く形となりました。

就職先は、工学部では機械、電気、情報通信、化学、製薬などの製造業がメイン。県内の主だった製造業の他に、日本を代表するような大都市圏のメーカーでの就職を決めた卒業生も多数います。看護学部においては、県内外で多くの公立・公的病院での就職を決めています。国や自治体での活躍が期待され、その分野で力を発揮している卒業生も多く、在籍した学科で学んだことを官民間問わず様々な分野で生かしています。

このように高い就職率を実現するために、本学ではどのような支援を……？

職業人としての意識を高める

「本学では、工学部生も看護学部生も1年次から様々な『キャリア形成科目』を履修します。これは専門の職業人としてどのように生きていくか、働いていくかを考えるための科目です。工学部の場合は、企業の見学や社会人を招いて経験談をうかがったり、技術者倫理などを学びます。看護学部でも医療や保健、福祉の現場などを見学の他、それらの活動に参加する中で、健康の意味や看護の役割を考察し、また看護職の多様性について理解していきます」

こう語るのは、キャリアセンター（射水キャンパス）の鈴木真由美所長。看護学部（富山キャンパス）には「キャリアセンターサテライト」が整備され、それぞれの学生の将来設計とともに、具体的な就職活動の支援も行っています。

卒業生の葛西海智さんが振り返ります。

「私は学部2年生の時に『トピックゼミ』の授業で、県内の複数の製薬企業を訪問し、薬の製造や開発に携わっている方々のお話をうかがいました。その時はまだ進学も就職も決めていなかったのですが、薬の製造や開発の内輪話をしてくれて興味を持ったのを覚えています。普通でしたら、社員になってから聞くような話を、ゼミの一環で訪問した学生にしてくれたので、これを契機に製薬企業への関心が芽生えました」

主な就職支援には……

こうして、社会に出て働くことの意義を学んだり、職業人としての意識を高めたりする機会を提供する一方で、キャリアセンターやサテライトでは具体的な就職支援も行っています。本学の就職支援の主な事項を表に示しました（一部キャリア形成支援含む）。「進路ガイダンス」では、そもそも進学か就職かの進路選択にあたっての留意事項の説明から始まり、面接の際のマナーや自己PRの方法、就職活動の現状と対策などを6回程度開催。工学部ではこの他に、1～3年生、大学院1年生を対象に「シルモク」（「企業を知る木曜日」の略称）というイベントを年に10回程度開催しています。このシルモクは、県内企業の経営者やそこで働く本学OB、OGが登場し、商品や技術の特徴などを紹介する他、就職活動にあたっての留意点などもアドバイスします。鈴木所長は、「シルモクは、キャリア形成支援とともに就職活動支援の側面も有している」と語ります。

OBの戸瀬良太さんに、キャリアセンターの支援の中でどのメニューが役立つかをうかがうと、以下のような答えが返ってきました。

「キャリアセンターのサポートでありがたかったのは、面接の際のマナーや自己PRの方法など、面接対策について細かく指導を受けることができたことです。特に模擬面接ではキャリアセンターの方が面接官の立場に立ち、本番ながらの質問をしてくれました。時には想定外の質問もあり、実際の面接の場で取り乱さないように練習できたことは大きな収穫でした」

戸瀬さんは、大学院1年生の11月から候補企業の情報収集を開始。年が明けてインターンシップに参加するなど候補企業を絞り、3月には面接に進みました。そして希望していた企業から月末に内定を得たのです。早々と内定を得ることができたのは「模擬面接のおかげかもしれない」と振り返るが、前出の葛西さんも「模擬面接に加えて、エントリーシートの書き方の指導もありがたく、『こういう書き方をすると、面接ではこういう質問がくるかもしれない』と実践的にサポートいただいたのが印象に残っています」と付け加えました。



富山県立大学
キャリアセンター
鈴木 真由美 所長

工学部機械システム工学専攻教授



(株)池田模範堂
研究所 製剤設計2グループ
葛西 海智 さん

令和4年 大学院工学研究科
博士前期課程
生物・医薬品工学専攻修了



黒田化学(株)
グローバル技術部
戸瀬 良太 さん

令和4年 大学院工学研究科
博士前期課程
機械システム工学専攻修了

不安を取り除く手立てを

最後に、「これから就職活動を迎える学生やその保護者のみなさまに何かアドバイスはありますか」と尋ねました。戸瀬さんからは「就職支援のサイトに登録して、受け身の情報に頼るばかりでなく、キャリアセンターに行ってみる、企業の説明会に行ってみるといふ、その1歩を踏み出すことが大事だと思います。その1歩が次の2歩目につながります」と、また、葛西さんからは「同級生の就職活動を見ていて思ったのは、苦戦している人は不安のスパイラルに陥っているようです。小さな不安が重なり、大事な時にマイナスに働く。家族や友人に相談しようにも、近しいがゆえに話しづらいつきもあります。そういう時、就職支援の経験が豊富なキャリアセンターなどに相談に行き、不安の元を解決する手立てを講じたらいいのです」と、お二人からアドバイスをいただきました。

そして鈴木所長は、「戸瀬さん、葛西さんのコメントにもあるように、学生のみなさんは、誰かに相談する1歩を踏み出すことが大事かと思ひます。とはいえ、対面での相談が苦手な場合もあるでしょう。授業の質問や就職活動の情報交換については、教員と学生の間でメールやチャット等が既に活用されていますが、キャリアセンターと学生間でも、このようなツールを活用して気軽に相談できるような体制の構築を検討していきたいと思ひます。また、就活中の学生は大きなストレスを感じています。家族のみなさんは彼らの一番の味方として、まずはそっと支えていただき、アドバイスは学生が求めてきた時にしていただければと思ひています」と就職支援をさらに充実させるための抱負を語りました。



キャリアセンターでは、キャリア形成科目のほか、進路ガイダンス、エントリーシート作成講習会、模擬面接、合同企業研究会、シルモク、企業の情報提供、SPI試験対策講習及び個別指導等を行っている。

キャリアセンター
HPはこちら



主なキャリア・就職支援スケジュール

工学部		
2年次	2月	教えて先輩! インターンシップ知ったクセミナー
3年次	5月	進路ガイダンス(4年次5月まで計6回実施) インターンシップ受入企業説明会
	7月	インターンシップ事前研修会
8~9月	8~9月	インターンシップ、キャリア支援セミナー
	10~12月	公務員試験対策講座、エントリーシート作成講習会、SPI試験対策講習、模擬面接、学内合同企業研究会
	2月	進路セミナー

※シルモク(企業を知る木曜日)は、1~3年生、大学院1年生を対象に年10回実施

看護学部

1年次	4月	キャリア支援に関するオリエンテーションI
2年次	5月	キャリア支援に関するオリエンテーションII
	1月	キャリア支援に関するオリエンテーションIII、 就活準備スタート交流会
3年次	6月	看護職シンポジウム、進学ガイダンス
	9月	県内医療機関説明会
	12月	履歴書・面接・小論文対策講座



キャリアセンターサテライトでは、医療機関等の採用募集や大学院、助産師・保健師専攻課程等の学生募集の情報提供、若手看護師等との交流会、医療機関等説明会を実施している。



県内医療機関の協力のもと、看護学部学生向けに医療機関説明会を開催しています。各機関の特色や魅力、キャリアアップ制度などの職場環境の紹介がなされ、同席する若手看護職の生の声を聞くこともできます。

Campus Topics

令和5年度 富山県立大学 研究協力会総会

5月31日(水)、オークスカナルパークホテル富山において、「令和5年度富山県立大学研究協力会総会」(会長:コーセル株式会社 取締役会長 谷川正人氏)が開催され、令和4年度事業報告及び収支決算、令和5年度事業計画及び収支予算が審議、承認されました。

総会後は、山梨大学水素・燃料電池ナノ材料研究センター長 飯山明裕氏にご講演をいただきました。交流会では、会員企業と本学教員とが交流を深めました。



令和5年度前期 地域協働授業成果発表会

7月20日(木)、21日(金)に、「地域協働授業成果発表会」を開催し、令和5年度前期に実施された、授業や研究室、サークルなどでの地域協働の取組みを、学生がプレゼンテーションしました。南砺市と連携し、地域の事業者をSDGs視点で取材し、記事をまとめて発信した取組みなどの発表がありました。



対面型オープンキャンパス2023

工学部・情報工学部[2024年新設](射水キャンパス)では7月30日(日)と8月18日(金)に、看護学部(富山キャンパス)では7月30日(日)と8月17日(木)に対面型オープンキャンパスを開催しました。それぞれ2日間で、工学部・情報工学部では計843名、看護学部では計444名の参加がありました。



ダ・ヴィンチ祭2023

ダ・ヴィンチ祭(8月5日(土)開催)が、約1,800名の皆様にご来場いただき、大盛況のうちに終了しました。

今年度は、こども科学製作教室や科学実験の実演・体験など41企画を実施しました。参加した子どもたちからは「たくさん学べて楽しかった」「科学に興味をもった」「また来年も参加したい」など、嬉しい声が聞かれました。



看護学部集中講義「看護ケアとユマニチュード I、II、III、IV」

ユマニチュード®創始者のイヴ・ジネスト客員教授を迎え、9月25日から5日間にわたり、各学年の到達目標に沿った「看護ケアとユマニチュード」が開講されました。

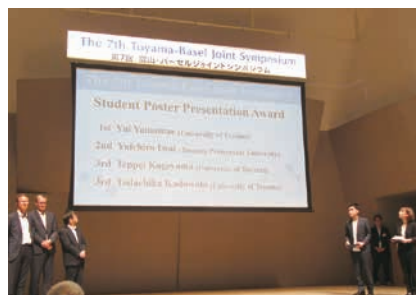
講義で哲学やケア技術の理論を学んだ後、互いが患者役になりケアの演習を行いました。ジネスト先生から技術指導を直接受ける場面もありました。



第7回 富山・バーゼルジョイント シンポジウム

8月29日(火)、30日(水)に富山市内で開催された「第7回富山・バーゼルジョイントシンポジウム」に工学部の学生、教職員が参加しました。

富山県とスイス・バーゼルとの交流協定による医薬品に関する国際的なイベントで、学生が研究成果を発表し、口頭発表、ポスター発表でそれぞれ受賞しました。



起業に関する集中講義 「スタートアップ特論」

9月7日(木)と8日(金)に、DX教育研究センターにおいて、下山学長、唐山教授及び非常勤講師7名による夏季集中講義を開催し、学生・教職員約18名が受講しました。

企業経営に関わる講師から、実務的な話やスタートアップを考えるうえでの心構えをお聞きし、実際の起業をイメージしたロールプレイも行いました。



DX教育研究センター オープンハウス開催

9月29日(金)と30日(土)の2日間、DXに関連する本学のシーズを紹介するポスター展示、来年4月開設の情報工学部の授業を高校生が体験する講座、学生と企業による産学協働プログラム事業「ケンダイラボ最終発表会」などの企画に、多くの来場者が訪れ、DXやデータサイエンスへの理解を深めました。



体験講座



ポスター展示

Information

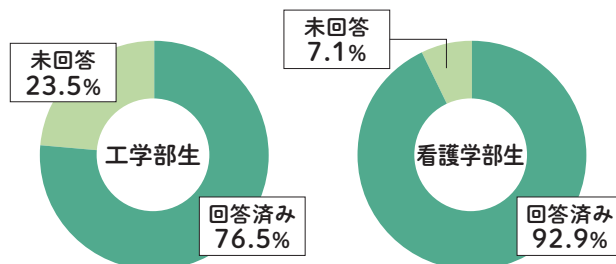
1 令和5年度 安否確認システム(ANPIC)を用いた訓練結果について

富山県内で震度6弱以上の地震を感知した際に、学生、教職員等の安否確認を迅速に行うことができる「公立大学法人富山県立大学安否確認システム(ANPIC)」を用いた安否確認訓練を実施し、その結果は、次のとおりとなりました。

【安否報告率】

(7月12日)

全体 81.9%
(学生、教職員等)



◆大学院など

工学研究科 ……74.1%
看護学研究科 ……100%
看護学専攻科 ……83.3%

●今後について

本システムは、万一の際にご家族も学生の安否を確認できるシステムであることから、今後も訓練を重ねて行き、安否報告率の向上を目指します。

教員の受賞 受賞日順、学科名、職位は受賞時のもの

堀川 教世 教授 / 工学部機械システム工学科

日本設計工学会北陸支部 教育推進賞

6/24に日本設計工学会北陸支部 研究発表講演会(富山県立大学で開催)にて、本学で長年取り組んでいる講義について、「課題探求型授業「総合機械設計・製図」の実践と検証」の演題で口頭発表を行い、設計工学における教育への取り組みが認められたもの。

R5.6.24受賞

小林 絵里子 准教授 / 看護学部看護学科

コクランジャパン 2022年日本語翻訳貢献者

翻訳ボランティアによる貢献として

R5.8.23受賞

李 豊羽 助教 / 工学部知能ロボット工学科

計測自動制御学会北陸支部
SICE Annual Conference 2023若手奨励賞

国際会議SICE Annual Conference 2023に「Fabrication of a finger dummy based on the dimension and mechanical properties of human fingers」というテーマのプロシーディングが採択され、口頭発表をしたもの。

R5.9.7受賞

濱 貴子 准教授 / 工学部教養教育センター

日本教育社会学会第10回奨励賞(著書の部)

『職業婦人の歴史社会学』晃洋書房、2022年。

R5.9.9受賞

古澤 之裕 准教授 / 工学部医薬品工学科

一般財団法人バイオインダストリー協会
第7回バイオインダストリー奨励賞

腸内細菌を介して免疫機能を調節する食物繊維の発見と疾患予防への応用

R5.10.11受賞

学生の受賞 学科名、学年、指導教員の職位は受賞時のもの

岩井 悠一郎 博士前期課程生物・医薬品工学専攻2年

日本生化学会北陸支部第41回大会
学生ベスト発表賞

指導教員: 准教授 安田 佳織、特別研究教授 榊 利之 R5.6受賞

仲谷 尚人 博士前期課程生物・医薬品工学専攻2年

日本ビタミン学会第75回大会 学生優秀発表賞

指導教員: 准教授 安田 佳織、特別研究教授 榊 利之 R5.7受賞

李 喆 博士前期課程機械システム工学専攻2年

自動車技術会春季大会・優秀ポスターセッション賞

指導教員: 准教授 寺島 修 R5.7受賞

三輪 大瑛 博士前期課程知能ロボット工学専攻1年

論文発表奨励賞
(電子情報通信学会 電子デバイス研究会)

指導教員: 講師 塚越 拓哉 R5.8受賞

斉藤 元弥 博士前期課程生物・医薬品工学専攻1年

The 7th Toyama-Baseel Joint Symposium
Student oral presentation Basel Award

指導教員: 教授 大島 拓 R5.8受賞

清瀧 亮 博士前期課程機械システム工学専攻2年

日本実験力学会・学生研究奨励賞

指導教員: 准教授 寺島 修 R5.8受賞

岩井 悠一郎 博士前期課程生物・医薬品工学専攻2年

第7回富山-バーゼルジョイントシンポジウム
Student Poster Presentation Award SECOND PLACE

指導教員: 准教授 安田 佳織、特別研究教授 榊 利之 R5.8受賞

永岩 仁成 博士前期課程知能ロボット工学専攻1年

2023年度電子・情報・システム部門大会
優秀ポスター賞

指導教員: 准教授 高野 博史 R5.8受賞

山本 美空 博士前期課程機械システム工学専攻1年

日本機械学会 2023年度年次大会
機素潤滑設計部門 卒業研究コンテスト 最優秀発表賞

指導教員: 准教授 宮島 敏郎 R5.9受賞

関 陸人 博士前期課程環境・社会基盤工学専攻1年

環境科学会2023年会 優秀発表賞(富士電機賞)

指導教員: 准教授 佐伯 孝 R5.9受賞

村谷 珠輝 工学部医薬品工学科4年

日本ハイパーサーミア学会第40回大会「優秀口演賞」

指導教員: 准教授 古澤 之裕 R5.9受賞

北條 佑斗 博士前期課程電子・情報工学専攻2年

第75回日本生物工学会大会 学生優秀発表賞

指導教員: 教授 榊原 一紀 R5.9受賞

中段 晴太 博士前期課程生物・医薬品工学専攻2年

第1回環日本海生命科学研究会「最優秀発表賞」

指導教員: 教授 生城 真一、准教授 古澤 之裕 R5.9受賞

藤下 龍澄 博士前期課程環境・社会基盤工学専攻1年

第31回地球環境シンポジウム 優秀ポスター賞

指導教員: 准教授 呉 修一 R5.9受賞

Report from students
学生レポート

大学での研究内容

工学部 機械システム工学科 4年 森岡 勇翔

機械システム工学科の山田研究室では製品や生産工程の環境影響の評価や技能継承、ユニバーサルデザインに関する研究を行っています。現在、日本やヨーロッパでは2035年までに新車販売を全て電動車にすることが発表されています。しかし、電気自動車の環境影響の評価は研究途上であり、特に動力の電源構成に関する研究は行われているものの、製造時を含めた環境評価は十分に調査されていません。そのため山田研では、電気自動車1台を分解調査し、1台を製造するときの環境影響の詳細な評価を行っています。詳細な環境影響を評価し、設計の観点と利用の観点から電気自動車の適切な活用方法やリサイクルに関する

分解された電気自動車の部品 ▶



◀ 部品情報(材料や重量、製造方法)の調査

研究を行うとともに、電気自動車の動的性能や商品性とリサイクル性の関係を調べ、動的性能や商品性を高めつつ、リサイクル性の高い電気自動車の車体・シャーシ構造の検討にも調査結果を活用していきます。

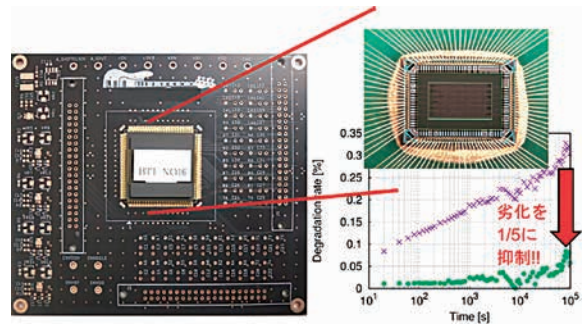
「高信頼」な集積回路の設計と実測評価

集積回路は半導体と呼ばれるトランジスタなどの素子を1つのパッケージにした電子部品です。この集積回路は身の回りの電気を使うほぼ全ての製品に使われているため、現代の生活には欠かせません。しかし、集積回路は宇宙から飛んでくる放射線によって、回路の保持している値が反転したり、最悪の場合回路が壊れたりすることもあります。また、トランジスタに電圧をかけ続けることで、トランジスタの絶縁体に電荷が捕獲されて特性が劣化し、故障に繋がります。こういった劣化や故障に強い「高信頼」な集積回路を設計することが重要です。

これまでに私は「高信頼」な集積回路を実際に設計・試作・測定・評価してきました。同じ動作をする回路でも、素子の配線や動作条件を変更することで、劣化しにくく「高信頼」な回路を実現させてきました。例えば1万秒電圧をかけ続けた発振回路において、対策をした回路とそうでない回路で劣化量が5倍異なることを実測して確認

しています。

近年注目されている量子コンピュータに関する研究も始めています。量子コンピュータはこれまでのコンピュータよりも高速な処理ができると期待されていますが、信頼性問題に課題が多いです。量子コンピュータを「高信頼」にすることで、誰もが安心して使える高速なコンピュータを手にすることができるかもしれません。



(左) 測定用回路基板 (右上) 試作チップ
(右下) 測定結果。設計から試作、測定まで行って「高信頼」な集積回路を目指しています。

バイオ医薬品工学講座：長井研究室(免疫学研究室)

免疫は人間がウイルスなどに対抗するために不可欠ですが、ときに人体に悪影響をもたらします。「全身性エリテマトーデス」は若い女性に好発する自己免疫病で、免疫系が自分自身を攻撃する疾患です。その発症には自然免疫の異常が関係することが分かっていますが、根本的な治療法はありません。我々は企業と共同で、本疾患の治療薬シーズとなる化合物を発見し、その作用メカニズムを解明しました。また、AMEDプロジェクトにおいて化合物の最適化を実施し、その有効性を疾患モデルマウスにおいて確認しました。今後、臨床試験を進め、一日でも早く治療薬を患者さんに届けたいと考えています。

さらにメタボリックシンドロームや脂肪性肝炎の発症機序を解明するために、モデルマウスを用いた解析を学生と共に取り組んでいます。これらの研究では、肝臓の線維化を誘導する新規マクロファージ集団を発見

するとともに、病気の進行における腸内細菌の関与を明らかにし、学生が筆頭著者の論文発表や学会発表、学会での表彰に繋がっています。さらに、善玉腸内細菌を著増させることでメタボを改善する植物由来成分も発見し、企業と共同で機能性表示食品素材の開発にも取り組んでいます。



2023年3月の研究室送別会



陸上部



こんにちは！富山県立大学陸上部です。

陸上部は毎週火、水、金の午後5時から県立大学グラウンドで活動しています。基本的にはグラウンドで練習

していますが、隣接している歌の森運動公園でランニングをしたり、陸上競技場で走ったりなどグラウンド外でも活動しています。

陸上部と聞くと「厳しそうだな…」というイメージがあると思いますが、全然そんなことはありません！実際に、陸上大会に出場している人はいますが、趣味でランニングをしている人やマラソン等に参加して走りを楽しんでいる人もいます。むしろ後者の人の方が多いです。ですから、陸上競技を続けて新記録を出したいという方はもちろん、「ランニングをのんびりと楽しみたい」「マラソンなどのイベントに出てみたい」という方も大歓迎です！

陸上部全体でのイベントはあまりできていませんが、いずれ「ランニング会」といったイベントを開きたいと考えています。少しでも興味を持たれた方は是非SNS等でご連絡ください！

Instagram: tpu_taf.club
X(Twitter): @TPU_Track_Field

工学部情報システム工学科・3年 吉田 大葵

Schedule

スケジュール【令和5年度】

December
12月

- 2日(日) 社会人向けセミナーレディメイド型講座 情報システム工学コース

射水キャンパス

- 2日(日)、3日(月) 学内合同企業研究会
- 4日(火) 大学院工学研究科入学者選抜

富山キャンパス

- 8日(金) キャリア支援イベント 「就活準備スタート交流会」
- 17日(日) 大学院看護学研究科入学者選抜(第2回)
- 25日(日) キャリア支援イベント 「履歴書・面接・小論文対策講座」

January
1月

- 13日(日)、14日(月) 大学入学共通テスト

射水キャンパス

- 11日(木) 第5回進路ガイダンス
- 25日(木)、26日(金) 地域協働授業成果発表会 (1月25日(木)~2月9日(金) ポスター展示)
- 19日(金) 私費外国人留学生入試
- 22日(月) 大学院工学研究科入学者選抜
- 29日(日)~2月9日(金) 授業又は試験又は補講

富山キャンパス

- 29日(日)~2月10日(日) 授業又は試験又は補講

February
2月

- 9日(金) 後期授業終了
- 25日(日) 一般選抜(前期日程)
- 下旬 スキー講習会

射水キャンパス

- 中旬 卒業研究発表会 修士論文審査発表会

富山キャンパス

- 中旬 卒論発表会

March
3月

- 8日(金) 一般選抜(前期日程)合格発表
- 12日(火) 一般選抜(後期日程)
- 16日(土) 学位記授与式
- 22日(金) 一般選抜(後期日程)合格発表

※令和5年10月1日現在。新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、今後予定が変更になる可能性があります。最新の情報は大学HPをご覧ください。

編集後記

今年は、富山も例年になく暑い夏でした。残暑も厳しかったのですが、10月に入った途端に急に涼しくなり、11月に入るとすっかり秋めいてきました。富山県立大学の射水キャンパスの正面出入口の道沿いに銀杏の木があります。例年、秋になると綺麗に黄色く色づき、沢山の実をつけます。熟した実が道端に落ちてくると、なんとも癖になる香りで秋を感じることができます。

関係各位のご尽力で、富山県立大学

ニュース第137号が発行できました。御礼申し上げます。Close Up県大では、本学が就職に強いヒミツを紹介させていただきました。本学学生の就職率は毎年全国トップクラスです。これは、キャリアセンターのスタッフをはじめ、教職員が一丸となって学生さんの就職活動を支援しているだけでなく、学生さん自身も一所懸命に取り組んでいる賜物だと感じます。また、就職先の企業さんからは「県大の学生さんはとても真面目

で信頼できます」というお言葉をよく頂きます。学生さんには、富山県立大学で学んだことに誇りと自信をもって社会で活躍してもらいたいと思います。一方、本学には安否確認システム(ANPIC)が導入されています。今後も安否報告率100%を目指していきますが、保護者の皆様もお子様の安否を確認できるシステムですので、お子様とご活用についてお話し頂いたら幸いです。

(広報委員長 真田 和昭)

